

第42回英語スピーチコンテスト
大阪・サンフランシスコ姉妹都市協会会長賞

松浦 優

私は2009年7月から8月の約1ヶ月の間、大阪市の親善大使としてサンフランシスコ市内に派遣され、インターンシップ等の経験をしてきました。

サンフランシスコではホームステイをしながら、日系の方々に関わる会社で英文で書かれた日本の行事についてのパンフレットを和訳したり、盆踊りやバザーに参加したり、市役所で日系女性が抱える男尊女卑問題についての会議に出席したりもしました。特に行事がないときにはメッセージ業務や不要な過去のEメールの処理、日系の子供たちのサマースクールの見学にでかけたりもしました。

今まで英文和訳などは授業で答えのあるものしか経験がなかったので不安はありましたが、易しい日本語訳になってしまっても一生懸命翻訳しました。自分はデスクワークに不向きだとばかり思っていたのに、コーヒーを飲みながら自分のペースでする仕事も楽しいと気づきました。そのアメリカンスタイルに感動しながらも、日本に比べてやはり自由でスローライフなのに感動しました。

なかでも一番苦労したのは市役所総会でのディスカッションでした。日本でアルバイト経験しかない私には「女の仕事」「男の仕事」や「女より男の仕事は優先」だとかも感じたことがなく大変難しい議題でした。少ない経験のなかから感じたことや見たこと、また女性上司に頭を下げている年配男性部下もいること、看護婦ではなく最近では看護師と呼ばれてきていることなどを話しました。

他には美術館や歴史博物館にも行ってきました。もちろん観光名所やグルメ、ショッピングも楽しむことができ充実した三週間になりました。

この時期サンフランシスコは予想以上に寒いので、来年行く方にはぜひとも温かい格好で臨んでほしいです。